

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

「廃線反対」の声が次々に

6/1久留里線・住民説明会

6/1 住民説明会での主な意見

- 11日の検討会に呼ばれた自治会の代表は何の理由もなしに、直前に呼び出された。住民を代表できないといった。
- JRは黒字で配当しているのに赤字を理由に廃線はおかしい
- 久留里～上総亀山間は日中帯に5時間半も列車が来ない。利用したくても利用できない。
- 電力はどんな過疎地の一軒家でも電線は撤去しないで電気を送る。東電から電線撤去の話があるのか。(千葉県は「ない」と回答)
- 亀山ダムを維持するには(リスク管理の点でも)鉄道は必要。
- 子供が学校に通うのに、久留里線が久留里止まりのため部活ができず悔しい思いをした。(他にも子供の久留里線利用で苦労した話が出されました)
- 国鉄・分割民営化の時、赤字路線は廃線にしないと云ったのに赤字をいうのはおかしい。
- 観光協会の立場からも豊かな観光資源を活かし、利用者の誘致をやって欲しい。廃線にしないで欲しい。

6月1日、久留里線に関する住民説明会が亀山地区で開催されました。60席全てが埋まり、沿線住民から発言した14名は全て廃線反対の意見でした。鉄道が地域にとっていかに必要かが改めて示されました。

一方、千葉県・君津市・JR千葉支社の検討会議で座長になった日本大学理工学部・藤井敬宏特任教授は「鉄道はインフラ

.....

ではない」などという、とんでもない発言をしています。JR千葉支社から参加した森原氏は「意見を総合的に判断していく」としか回答しませんでした。

地域の怒りとともに声あげよう

JR東日本は「鉄道以外の売上を5割へ」と掲げ、深澤社長自身が「鉄道人員4千人削減」「転籍・副業促進」と打ち出してスイカや金融業、不動産業に大きくかじを切ろうとしています。

公共交通であり社会的インフラである鉄道をないがしろにしてはなりません。

融合化や兼務化、ジョブローテーション、乗務員による車いす対応などで、現場に矛盾を押し付けることも絶対に許せません。

地域の怒りとともに廃線反対、融合化・兼務化、ジョブローテーション撤回の声をあげよう。